

2024年12月27日  
光洋機械産業株式会社  
事業開発部

## 和歌山高等専門学校でアマモ場の再生・保全などの公開講座を開催

### アマモ場の再生・保全研究

当社では和歌山工業専門学校の楠部教授と共にアマモ場の再生・保全の共同研究を行っており、活動の一環として、地元の小学生・中学生にこのテーマについての公開講座を毎年行っています。今年の講座は2024年12月14日(土)に開催し、開催より6回目をむかえることとなりました。講座ではアマモ種子、バイオセメントと海砂を造粒するという当社のミキサを使った造粒固化の技術を紹介しました。



公開講座の様子

### アマモ種子の散布

造粒したアマモ種子は和歌山工業高等学校の学生さんにより和歌山県白浜町の市江（いちえ）漁港と日高町の方杭（かたくい）漁港に散布されました。今後は散布されたアマモ種子入り固化物が海洋で発芽するまでの経過を確認していきます。



海洋散布の状況

### マイクロプラスチックゴミの回収

生活用品から排出されるマイクロプラスチックと言われるごみは魚の生育など海の生態系に影響を与えていると言われています。講座では和歌山の砂浜から採取した海砂に水、塩化ナトリウムを試験容器内に投入、密度によって異なるマイクロプラスチックゴミが浮いてくる様子を体験頂きました。



試験の様子



回収したプラスチックゴミ

### 宇宙産業への挑戦

宇宙産業への挑戦というテーマでは新たに取り組んだカイロスロケット組立塔の完成までの秘話を紹介。12月14日(土)には串本町でのロケットの発射時の様子を同時中継で動画を視聴しました。ただし当日の発射が延期となり、実際のロケット発射の様子を一緒に見守ることが出来ず残念でした。



当社移動式射点組立足場とロケット  
(和歌山県串本町)

和歌山高等専門学校とは今後も共同研究や公開講座を通じて学生との交流や地域還元、海洋資源の環境改善を目指した社会貢献につながる活動を行ってまいります。